

あとから来る者のために  
坂村 真民  
あとから来る者のために  
田畑を耕し  
種を用意しておくのだ  
山を  
川を  
海を  
きれいにしておくのだ  
ああ  
あとから来る者のために  
苦勞をし  
我慢をし  
みなそれぞれ力を傾けるのだ  
あとからあとが続いてくる  
あの可愛い者たちのために  
みなそれぞれ自分のできる  
なにかをしてゆくののだ

# U-net通信

2015年1月  
Vol.83

発行:地球環境・共生ネットワーク 〒105-0014 東京都港区芝2丁目6番3号三宅ビル4F TEL:03-5427-2348 FAX:03-5427-5890 http://www.unet.or.jp 編集人:大山正治/発行人:比嘉照夫



## 前進するEMによる国づくり

2011年3月に発生した東日本大震災の被災地に対しての支援活動は本年で5年目に入ります。当初の悪臭・衛生・ヘドロ・塩害対策から2年目及び3年目は放射能汚染対策が主であり、一定の成果が上がってきております。しかしながら、米・野菜等農作物、海産物や畜産品の販売は風評被害などで、未だ震災前の水準には達しておりません。本年はこれら農産品等、とりわけEM有機栽培品等の販売促進にも支援していく所存であります。

新年にあたり、比嘉照夫理事長から昨年度の活動実績の総評、EM運動の基本、活動方針についてメッセージをお届けいたします。

### 謹んで新年のご挨拶を申し上げます

U-ネットも発足17年を迎えることになりました。「見返りを求めない真のボランティアが世の中を変える」がU-ネット創設の理念であり、その行動指針は坂村真民の詩「あとから来る者のために」です。当NPOとして全力投球で事に当るという方針で活動を行ない、会員の皆様をはじめ、多数の関係者の協力を得て数々の成果を上げることができました。会員の皆様に、あらためて感謝申し上げます。

今後、NPOとしての活動が難問に直面した場合、マントラ(創設理念と行動指針)を繰り返し念ずると、勇気と様々な智恵が湧き、多くの縁が成立し、その難問が関係者を更に成長させてくれます。

この原点をより確たるものにするためには「自己責任と社会貢献」が重要であり、「成功するまで続ける」という信念がDNAとなれば、人生の成功者として、着実な成長と尊敬が約束されるようになります。

このような人々が一人でも多くなることが国づくりの基本であり、EMはその願いをすべて叶えてくれる本質的な力を持っています。



理事長 比嘉照夫

### EMによる社会化

EMの応用は「安全で快適」「低コストで高品質」「持続可能で善循環」という基本に従って日進月歩であり、そのシントロピー(蘇生)に基づく新知見が次々と出現する状況となってきました。まずはこれまでの「EM生活の実践」、続いてボランティアに基づく「EMの社会化」です。次にEMを水や空気のごとく使うことによって、すべての問題を解決するという信念と活動の向上を図るために、関係者への最新の情報提供とスキルアップに努めたいと考えています。

### EMによる水系の改善

昨年末に日本橋川浄化10周年を記念して発行した事例集「水系改善と生物多様性の回復」は東京湾の浄化を軸にU-ネット活動が達成した水系の浄化と

生態系の回復の代表例です。これからの河川や湖沼や海の浄化はもとより、日本の漁業振興にも大きく寄与するものであり、積極的な活用を期待しています。

### EMによる放射能対策

福島放射能汚染対策支援活動も、実施グループが更に増え、47プロジェクトとなり、着実な成果を上げています。昨年11月22日の「第3回環境フォーラム うつくしまEMパラダイス」では、ベラルーシ共和国の国立放射線生物学研究所のニキティン博士は、ついに、EMが放射性セシウム137を消滅させるという事実を発表しました。これで、EMの放射能消滅力の客観的証明がなされたことになり、今後の展開に絶対的な力になるものと考えています。今年も、会員の皆様にとって、楽しく、うれしい1年になることを祈念します。



## U-ネット 主要年間行事計画(予定)

2月28日(土)	U-ネット総会
3月28日(土)	善循環の輪・島根の集い
4月18日(土)	善循環の輪・栃木県北部の集い
5月30日(土)	善循環の輪・福岡北部の集い
6月13日(土)	善循環の輪・埼玉の集い
6月14日(日)	世話人講座(関東甲信越地区)
7月20日(月・祝)	第6回 EMの日 全国一斉EM団子活性液投入
8月16日(日)	善循環の輪・愛知の集い
8月17日(月)	世話人講座(東海北陸地区)
9月5日(土)	善循環の輪・岩手の集い
9月6日(日)	世話人講座(北海道東北地区)
9月7日(月)	農業勉強会(宮城県 鈴木有機農園)
9月26日(土)	善循環の輪・熊本の集い
9月27日(日)	世話人講座(九州沖縄地区)
10月31日(土)	善循環の輪・奈良の集い
11月1日(日)	世話人講座(近畿中国地区)
11月7日(土)	善循環の輪・徳島の集い
11月8日(日)	世話人講座(四国地区)
11月28日(土)	第4回 環境フォーラム (福島県福島市)



## 「EM生活セミナー」 日程のご案内

5月10日(日)	東京都港区
7月12日(日)	宮城県仙台市
8月16日(日)	愛知県名古屋市 ※「善循環の輪」の集いとの連携
8月30日(日)	北海道札幌市
10月18日(日)	大阪府大阪市
12月6日(日)	福岡県福岡市



## information 事務局スタッフの紹介

新年おめでとうございます

昨年12月よりU-ネットに着任いたしました。  
事務局スタッフとともに明るく・楽しく皆様の  
EM活動のサポートに努めさせていただきます。本年  
もよろしくお願いたします！(仲嶺)



▲ 左から、三上、中川、仲嶺事務局長、会田

i n f o r m a t i o n

## 事務局からのお知らせ

### ■今後の主要行事のご案内■

#### ■U-ネット年次通常総会

**日時** 2月28日(土) 13:00~17:30(終了後、交流会)

**会場** 芝公園フロントタワー 3階

平成26年度正会員の皆様には、2月中旬にご案内(総会議案)を郵送いたします。

#### ●善循環の輪・島根の集いin出雲

**日程** 3月28日(土)

**会場** ラピタ ウェディングパレス

#### ●善循環の輪・栃木県北部の集いin那須

**日程** 4月18日(土)

**会場** ホテルサンバレー那須



# 世界 20 か国、400 人が参加し盛り上がる

～ 第 2 回 世界 5S サミット 2014 足利 ～

取材 / 大山

平成 26 年 11 月 6～7 日、栃木県足利市で第 2 回世界 5S サミットが開催された。5S とは Seiri (整理)、Seisou (清掃)、Seiton (整頓)、Seiketu (清潔)、Shitsuke (躰) の 5 つの S の頭文字をとっての環境改善など意識改革を目的とする一つの経営手法だ。

第 1 回は 2 年前、同じ足利市で開催された。経済産業省からの物心両面の支援もあり始められ、地域再生のモデルともなりえる素晴らしい施策だと思う。今回のサミット、5S の 2 番目 Seisou (清掃) で EM の出番があった。U-ネット新潟県世話人の山上智恵子さんが事例発表として EM 清掃の講演をした。

今号では初日の開会式・事例発表、二日目の現場見学会・基調講演・パネルディスカッションの概要をご報告する。この取材には、U-ネット理事 関東北部地区世話人・中庭三夫さんの多大なるご協力があったことを申し添える。

## 行政・学校なども取り入れる“まちぐるみ”足利流 5S



▲世界 5S サミット 2014 足利開会式で挨拶する和泉聡足利市長 (中央)

初日は、メイン会場である足利市の栃木県南地域地場産業振興センターで開会式・事例発表が行われ、会場には世界 20 か国からの参加者を含め約 400 人が参集した。開会式は足利 5S 学校の名誉校長でもある地元足利市の和泉聡市長、主催者、経済産業省の挨拶等があり、30 分ほどで終了した。

足利流 5S の特長は製造事業所の他に行政・学校・飲食店などサービス業でも 5S を取り入れた“まちぐるみの 5S”であることだ。製造業以外の取り組みとして、行政事例は足利市役所、学校事例は栃木県立足利清風高校、サービス業の事例を二つあしかがフラワーパークと手打ちそば一茶庵本店の発表があった。



▲山上智恵子さんの講演「EM 清掃で職場も人もすっきりキラキラ」の画面

続いて製造事業所の事例として地元足利市の企業、日光市の事例、海外からフィリピン味の素の事例等の発表があった。その中で山上智恵子さんの EM 清掃の講演があり「EM 清掃で職場も人もすっきりキラキラ…」と題し、中性洗剤を使った清掃と EM 清掃との違いの話や EM 清掃に変えると職場環境がさわやかに改善され、働く人々も明るく楽しい職場になり、会社として信頼度が増すという内容で分かりやすく大好評であった。

その後、会場を変えての懇親会が東武足利市駅前のニューミヤコホテル足利本館で行われ、足利流 5S の推進リーダーである新たな 5S インストラクターの修了式から始まり世界各国からの参加者が 5S を通しての懇談で盛り上がり初日は終了した。

## EM 清掃で工場も空気も清潔に 菊地歯車 (株) 足利市

二日目は、足利市内の 5S 実践事業所見学会、足利市出身で元経済産業大臣の茂木敏充氏による基調講演、「足利流 5S で地域を元気に！」と題するパネルディスカッションが行われた。実践事業所見学会は 5S のモデル事業所というべき菊地歯車 (株) を視察した。この会社は、山上智恵子さんが EM 清掃を指導する事業所でもあるので、その成果にも興味があった。

自動車のデフ歯車を主に製作するが、特級技能士が 9 人もいる技術に定評

ある優良会社なので航空機用ジェットエンジン部品

も手掛けている。5S の取り組みは 10 年目になるが工場内床に EM 清掃を取り入れたのは今年で 3 年目。工場内に入って驚くのは、整理・清掃・整頓・清潔・躰の 5S がほぼ完璧にできている。清掃面で見ると、床がピカピカで油臭さがほとんど感じられないで空気もすがすがしいことだ。更にオイル倉庫にも驚かされた。



▲EM 活性液を使う床清掃機と山上智恵子さん

床がピカピカでオイルが入ったドラム缶や周辺にもオイルが一滴もこぼれてないし臭いもほとんどしない。

また、イレクターと称する手づくりの事務用・作業用の台が目が引きつけられた。誰でも取りやすいよう・戻しやすいようにと筆記用具や作業道具が整理整頓されていた。



▲菊地歯車 (株) の第 1 工場内床、床がピカピカで天井の灯りが良く反射している



▲工場内イレクターに整理整頓された道具類



# EM活用の「模索」から「確信」へ！

～ 第3回環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス」開催～

取材／三上

2014年11月22日、第3回環境フォーラム「うつくしまEMパラダイス」(主催:U-ネット、後援:ふくしまFM、協賛:復興推進EM活用モデル事業参加46団体)が、福島市の福島県教育会館で開催され、約300名が参加した。

今回は、新たにマクタアメニティ(株)・幕田武広代表取締役の特別発表と、事例発表に新たな2事例(エコクラブだて・栗野自治会=福島県伊達市、高橋剛氏=岩手県矢巾町)が加わり、前回に比べて質・量ともに大幅に充実したフォーラムとなった。

## 逆風の中だからこそ見える新しい日本農業の目

マクタアメニティ(株)では、開発した有機栽培農産物生産流通システムによる農産物が首都圏の高級小売店から高い評価を得ていたが、震災を境に一変。震災後はマーケットの信頼を回復するための実証・検証に取り組んできた。

幕田氏は、発表の中で、安全と安心はイコールではないと前置きした上で、「消費者がミカンやキュウリといった“モノ”ではなく、安心やおいしさといった“コト”を求める時代になった。ならば福島の農業は内向きになることなく、おいしさや安心など付加価値に挑戦することが必要だ。逆風の中だからこそ見えるものがある。福島こそ国際的な競争に適應できる新しい日本農業のモデルになりうる」と話した。

幕田氏の話に勇気づけられた参加者は多く、会場内は終始真剣に聞き入っていた。

## 「EMがあるから不安がない」

フォーラムでは、EMの継続活用による累積効果がどのように変化していくのかをみよう、原則的に同じ取り組み現場での1年ごとの成果を継続的に発表している。EM柴田農園(栃木県那須塩原市)、

コズモファーム(福島県田村市都路町)、EMとじょうろの会(福島県いわき市)、瀧澤牧場(福島県南相馬市)、馬場EM研究会(福島県南相馬市)の5団体が昨年に引き続き発表を行った。

今回の事例発表の大きな特徴は、コズモファーム、EMとじょうろの会が発表の中で幾度か発言した「EMがあるから不安がない」との言葉に象徴されているように感じる。昨年はEM散布によっていかに放射能低減化が図られたかに発表の重点が置かれていたのに対し、今回は放射能対策以外のEMの効果にも触れた発表が多かったのだ。

たとえば、放射能低減化を主目的にEM散布に取り組んできたEM柴田農園は、EM栽培による農産物の栽培・品質面での成果を発表の中に盛り込んだ。瀧澤牧場は、EM活用による酪農の有機資源循環型放射能汚染対策について、馬場EM研究会は、高品質な米栽培について、それぞれ先を見据えた目標を力強く話した。

すなわち、いずれの発表もEM活用の「模索」から、「確信」を持つてのEM活用に大きく変化していると感じさせる内容であった。2015年とはどのような変化が見られるのか、次の環境フォーラムが見逃せない。



▲ベラルーシ共和国国立科学アカデミー放射線生物学研究所のアレクサンドル・ナウモフ所長(右写真・左)とアレキサンダー・ニキティン放射線生態学研究室長(右写真・右)が参加して行われたパネルディスカッション。ニキティン室長はEMの放射能削減に関する報告を行った。